

平成28年度の校内研究のまとめ

札幌市立豊明高等養護学校
研究部

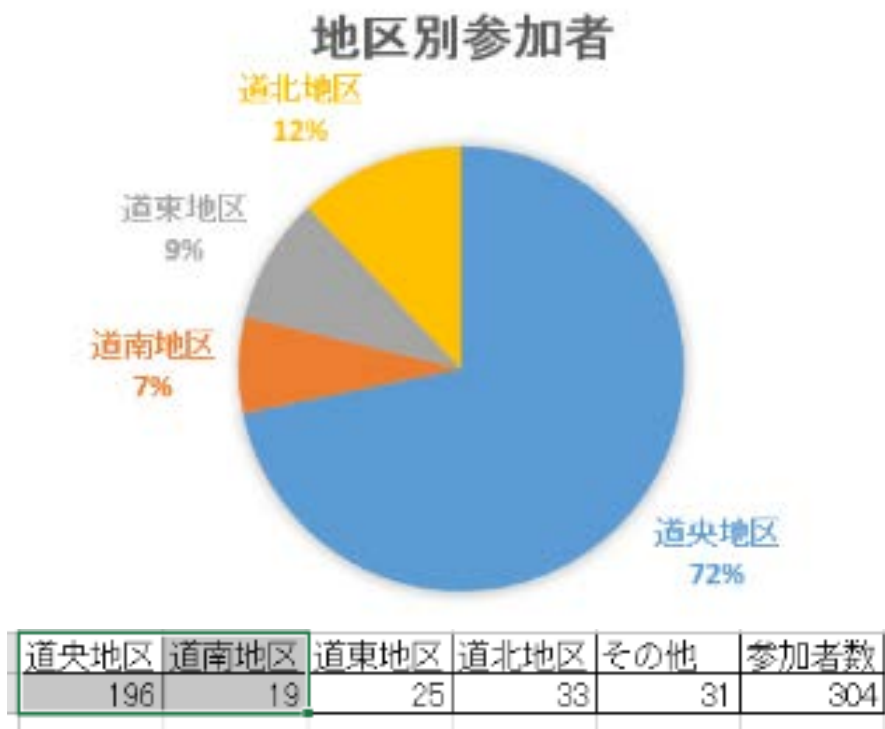
〈今年度の研究のまとめ〉

1. 本年度の重点

- ①本校の教育活動における実践上の課題についての研究・研修を推進する
- ②札幌市立豊明高等養護学校教育研修会を開催する

2. 研究のまとめ

- ①本校の教育活動における実践上の課題についての研究・研修を推進
2学期以降の校内研究として確保した時間を「新・豊明教育システム構築」のための会議の時間とし、教務部企画政策係の主導で「新教育課程の検討」を行った。
- ②札幌市立豊明高等養護学校教育研修会を開催
7月28日（木）、29日（金）の2日日程で北海道特別支援研究協議会と共催の形式で、札幌市立豊明高等養護学校教育研修会を開催しました。総参加者数は、304名、各地区からの参加内訳は表のとおりです。



今年度の校内研究では、全道レベルでの研修講座運営や講演会を通して教育実践のための新たな視点に気づくこと、ポスター発表等を通して日常の教育実践を効果的に発表するために必要な形式を整え、表現方法を工夫すること、効果的な研修講座運営方法の工夫などを通して、教職員としての専門性の向上を目指しました。

《 豊明高等養護学校教育研修会の概要 》

○実践講座Ⅰ

発達障害の特性を配慮した指導、発達障害の生徒に多く見られる怒りの感情の処理の仕方としてのアンガーマネジメントについて、事例を通じた生徒理解と学びの支援について、ICT研修としてiPadアプリKeynote入門、青年期前期の発達課題をふまえた性教育について、刑事施設における改善指導としての認知行動療法についての6つの講座を開講しました。

○実践講座Ⅱポスター発表

本校からは、生きる力をはぐくむ教科家庭科の実践、社会とのつながり意識した作業学習、生涯学習としてのキャリア教育（選択教科創作アート）の実践の発表が行われました。また各校からは、生徒一人一人のキャリア発達を支援する授業の改善、自己有用感を高める指導の工夫、ユニバーサルデザインの視点で自立的・主体的な参加を促す授業づくり、主体としての生きる喜びを育む教育実践等の発表が行われました。

○全体講演

東京学芸大学名誉教授 松矢勝宏氏による、特別支援教育史を踏まえた生涯教育としてのキャリア教育、全国的な視点で見た就労を通じた社会参加の課題など多彩で深い内容の講演が行われました。

○記念講演

株式会社コンサドーレ代表取締役 CEO 野々村芳和氏によって、経営者としてチームや人を育て、さらに世界への飛躍をめざすための工夫についての講演が行われました。

教育実践講座Ⅱポスター発表の様子



生きる力を育む豊明の教科・家庭科の実践紹介



生徒がより達成感を実感できる作業学習とは
～社会とのつながりを意識した学習活動の実践報告～



キャリア教育における選択教科
(創作アート)の可能性とその実践